〔資料2〕

地域年金展開事業【和歌山県】

令和6年2月

和歌山東年金事務所
（和歌山県代表事務所）

日本年金機構
Japan Pension Service

目　次

1．地域年金展開事業の概要　P3　～　P5

2．令和4年度事業実施結果　P6　～　P18

3．令和5年度事業実施経過（令和5年12月末現在）　P19　～　P27

4．令和6年度事業計画（案）　P28　～　P37

〇市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組

〇教育機関を対象とした取組

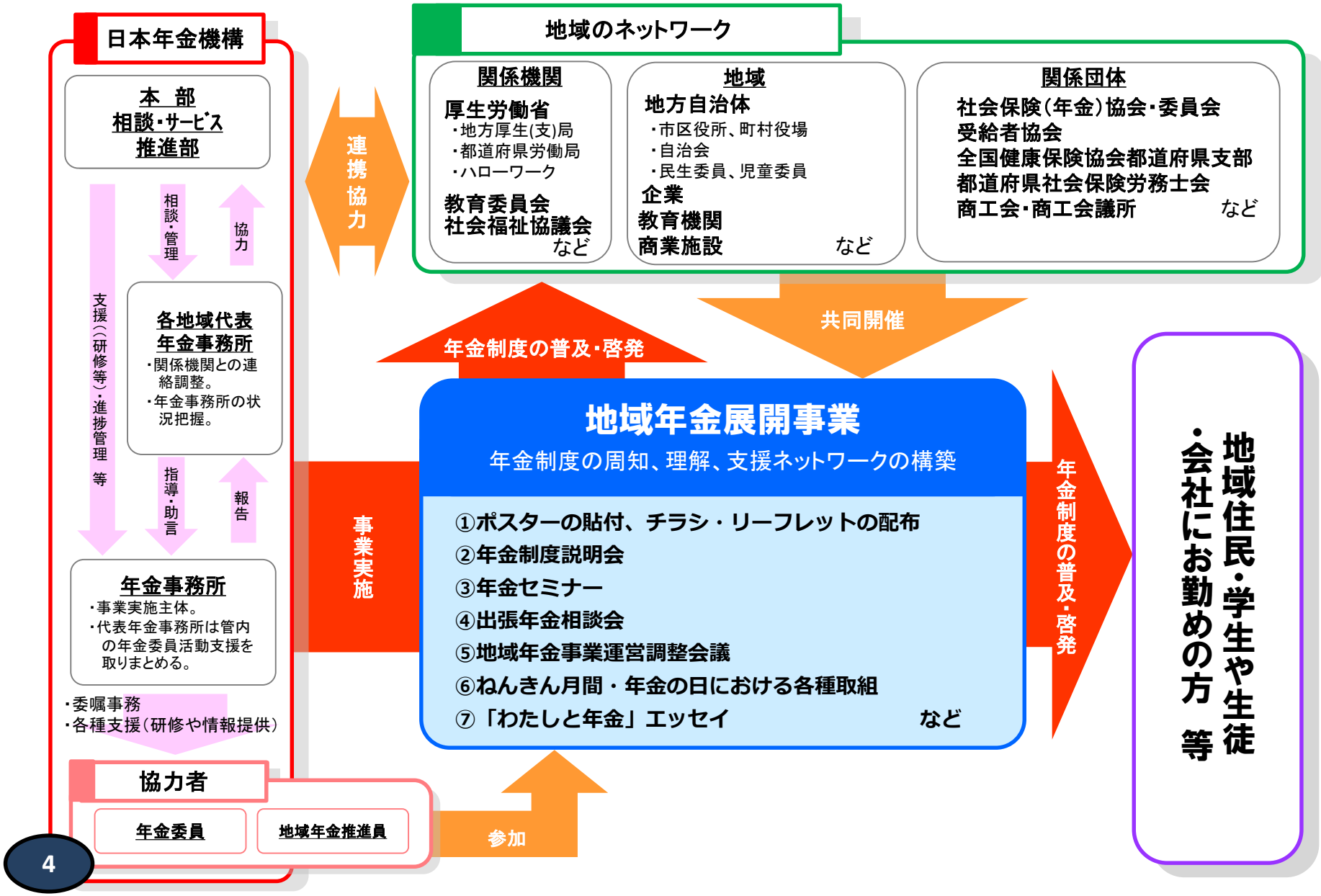
〇年金委員を対象とした取組

〇職員の育成

〇スケジュール（令和6年4月～令和7年3月）

１．地域年金展開事業の概要

1．地域年金展開事業の概要（1/2）



1．地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取組

◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。

◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

◆なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染防止に配慮した取組を実施しています。

	《本来の取組内容》	《コロナ禍での取組内容》
地域連携事業	・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。 ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。	アプローチは原則、電話・文書により行う。 制度説明会や年金セミナーは、Web会議ツール等を使用した非対面型（リモート）による実施を基本とするが、相手先機関から要請があり、当該機関における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が可能な場合は、対面での開催を可能とする。なお、年金セミナーでは解説付き動画（DVD)配布による実施も有効である。
年金セミナー事業	・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。 ・大学での年金相談・学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。	
地域相談事業	・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで実施。ただし、地域によって感染状況が異なることから、実施の可否については、各地の実情を踏まえて慎重に判断。
年金委員活動支援事業	・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。	原則、電話・文書による活動。対面による場合は感染防止対策を徹底。
地域年金事業運営調整会議	・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関職員等を委員として都道府県単位に設置。	委員長及び委員の過半数より要請があった場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで対面開催も可能とする。対面開催が困難な場合は、書面開催。

２．令和4年度事業実施結果

○地域連携事業 （1/2）

R4年度

	計画	実績	総括及び課題
市町村	①窓口へのポスター掲示等 ②広報誌への記事掲載 ③職員への年金制度説明会	①市町村の窓口へ法律改正等のポスター掲示及びリーフレット等の配置 ②市町村広報誌に掲載する年金に関する記事の提供（奇数月） ③市町村担当者（6月、7月、11月、12月） ・和歌山東3回、和歌山西5回、田辺5回	【総括】 ○予約相談周知、ねんきんネット利用案内に関するポスター・リーフレット等を市町村、社会保険労務士会、社会保険協会のほか、労働局等の関係機関、適用事業所へ郵送による協力依頼を実施した。 【課題】 ○予約相談周知、ねんきんネット利用促進に係るPRを引き続き実施するとともに、商工会などの関係団体の拡大が必要である。
社会保険労務士会	①広報誌への記事掲載	①社会保険労務士会発行の広報誌へ年金に関する記事を掲載 ②社会保険労務士会主催の研修会への講師派遣	
社会保険協会	①広報誌への記事掲載	①社会保険協会発行の広報誌へ年金に関する記事を掲載 ②社会保険協会主催の研修会への講師派遣	

○地域連携事業 （2/2）

R4年度

	計画	実績	総括及び課題
全国健康保険協会	委員研修会の共同実施	○オンラインでの研修を実施 ・和歌山東　1回実施 ※和歌山東社会保険委員会、和歌山西社会保険委員会並びに田辺社会保険委員会において、単独での開催は実施。	【総括】 ○例年要請のある事業所及び団体への年金制度説明会は実施したものの、新たな事業所・団体の拡大が出来なかった。 【課題】 ○引き続き、年金制度説明会の拡大を図る必要がある。
事業所等	従業員及び事務担当者への年金制度説明会	○企業からの依頼による説明会 ・和歌山東　3回実施（2事業所、1団体） ○新規適用事業に対する事業所調査や戸別訪問、又はオンラインでの事務担当者向けの説明会を実施	
商工会等	研修会への講師派遣	○商工会からの講師派遣依頼 ・田辺　3回実施（3団体）	

○年金セミナー事業 （1/4）

R4年度

計画		実績	総括及び課題
年金セミナー	①年金セミナー実施に向けた教育機関への積極的なアプローチ ②令和3年度実施校の継続実施	①及び②の実績については以下のとおり	【総括】 ○新型コロナウイルス感染症等の影響により一部実施できなかった学校もあったが、30校1,633名に年金セミナーを実施した。 内　非対面によるセミナー オンライン実施 5校330名 DVD動画視聴 3校347名 【課題】 ○実施校を拡大するとともに、大学・短期大学での年金セミナー開催向けたアプローチの強化。

	大学・短大	専門学校	高等学校	中学校	支援学校	計
アプローチ ※	6回	4回	15回	20回	0回	45回
セミナー	0校 0回	8校 9回	16校 17回	5校 10回	1校 1回	30校 37回
セミナー受講者数	0人	402人	958人	264人	9人	1,633人

※　電話もしくは訪問による回数

参考：令和3年度実績
アプローチ：39回
（大学等1回、専門学校10回、高等学校28回、中学校0回、支援学校0回）
セミナー　：26校、27回
（大学等0校0回、専門学校9校10回、高等学校16校16回、中学校0校0回、支援学校1校1回）

令和4年度年金セミナー実施校については以下のとおり

学校名	実施日	対象学年	対象者数
病院協会立和歌山看護専門学校	11月7日	2年	34
県立伊都中央高等学校	12月2日	3年	31

○年金セミナー事業 （2/4）

R4年度

計画	実績	総括及び課題
年金セミナー		

学校名	実施日	対象学年	対象者数
IBW美容専門学校	12月19日	1年	49人
県立貴志川高等高校	12月21日	3年	86人
県立粉河高等学校	1月17日	3年	6人
県立和歌山高等学校	1月18日	3年	109人
県歯科衛生士専門学校	2月17日	3年	30人
県立和歌山工業高等学校	10月5日	3年	311人
県立有田中央高等学校清水分校	12月12日	3年	2人
和歌山市医師会看護専門学校	2月27日	1年	29人
県立田辺産業技術専門学院	10月14日	1年・2年	45人
南紀支援学校	10月20日	父兄	9人
県立新翔高等学校	11月2日	3年	73人
国立和歌山工業高等専門学校	12月12日	3年	113人
県立南部高等学校龍神分校	12月15日	3年	12人
県立田辺高等学校	12月20日	3年	32人
県立日高高等学校	1月10日	3年	80人
県立新宮高等学校	1月17日	3年	96人

○年金セミナー事業 （3/4）

R4年度

計画		実績	総括及び課題
年金セミナー			

学校名	実施日	対象学年	対象者数
和歌山南陵高等学校	1月23日	3年	44人
県立南紀高等学校	1月26日	3年	18人
県立串本古座高等学校	2月7日	3年	35人
県立なぎ看護専門学校	2月22日	3年	26人
紀南看護専門学校	2月27日	3年	37人
日高看護専門学校	2月28日	1年	39人
県立日高高等学校中津分校	3月6日	2年	23人
和歌山市立城東中学校	1月19日	3年	52人
和歌山市立伏虎中学校	1月30日	3年	48人
和歌山市立河北中学校	3月2日	3年	118人
高城中学校	12月21日	3年	13人
上南部中学校	2月3日	3年	33人

○年金セミナー事業 （4/4）

R4年度

	計画	実績	総括及び課題
年金セミナー	地域年金推進員の委嘱	○和歌山東年金事務所2名、田辺年金事務所1名の計3名を委嘱。 中学校での年金セミナーを担当。	【総括】 ○令和3年度に引き続き、地域年金委員3名を委嘱し、中学校での年金セミナーを開催した。
リーフレット等の設置	大学等に対し、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置依頼	○和歌山大学に対して、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置依頼を実施。	【総括】 ○大学のご協力により学生に学生納付特例制度の周知を行うことができた。 【課題】 ○学生納付特例事務法人の勧奨を継続的に行い、利便性及び申請率向上に努める。

○地域相談事業 （1/2）

R4年度

<table>
<tr><th></th><th>計画</th><th>実績</th><th>総括及び課題</th></tr>
<tr><td>市町村等</td><td>遠隔地の市町に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設</td><td>○各市町における実施結果は以下のとおり
<table><tr><th>市町村</th><th>会場</th><th>回数</th><th>相談者数</th></tr><tr><td>橋本市</td><td>橋本市教育文化会館他</td><td>24回</td><td>97人</td></tr></table>※和歌山県社会保険労務士会主催の年金相談会を有田市、湯浅町、御坊市で実施。

○和歌山県難病子ども保健相談支援センターの要請により難病患者対象の年金相談を実施
・田　　辺　2回実施（相談者5名）

○イベントへの参加なし</td><td>【総括】
○計画どおり実施することにより、年金事務所から遠隔地の地域住民の利便性の向上が図れた。

【課題】
○地域住民のニーズに応えられるよう、市町村等との連携を強化し、取組みを進める必要がある。</td></tr>
<tr><td>ハローワーク</td><td>年金制度説明会の開催及び免除申請等の相談窓口の開設</td><td>○実施なし</td><td>【総括】
○新型コロナウイルス感染症等の影響による「雇用保険説明会」の縮小等により、年金事務所所在地のハローワーク和歌山、海南、田辺、新宮全ての会場で説明会及び相談窓口の開設を見合わせた。

【課題】
○申請書等の受付（申請）窓口の開設に向けた体制作りに関し、ハローワークへの協力依頼が必要である。</td></tr>
</table>

○地域相談事業 （2/2）

R4年度

	計画	実績	総括及び課題
商業施設	各地域の利便性の高い商業施設に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	○令和4年11月30日（水） 和歌山ミオ北館1階にて実施 ・年金相談 ・健康相談 ・ミオ広場内、ミオ北館前（屋外）、JR和歌山駅中央口（屋外）でのねんきんネット利用促進チラシ等の配布	【総括】 ○和歌山県社会保険労務士会、全国国民年金基金和歌山支部、全国健康保険協会和歌山支部の協力のもと、年金の日のイベントとして実施をした。 【課題】 ○地域住民に親しまれる「年金の日」における効果的な周知活動を引き続き検討する必要がある。
教育機関	学生納付特例申請等の相談窓口の開設	○令和4年11月25日（木） 和歌山大学にて実施 ・学生納付特例制度・ねんきんネット等チラシの配布 ・年金相談等	【総括】 ○国民年金学生納付特例制度の周知やねんきんネット利用促進のパンフレット等の配付や学生への年金相談を実施した。 【課題】 ○周知活動を実施する時間帯を検討する必要がある。

○年金委員活動支援事業

R4年度

計画	実績	総括及び課題
①研修及び意見交換の実施	①各年金事務所において、年金委員に対する研修会を実施した。 ・和歌山東　職域型　1回・24名 ・和歌山西　職域型　2回・19名 ・田　　辺　職域型　3回・29名	【総括】 ○コロナウイルス感染症の影響があったものの、非対面型（Web会議等）による研修会等を取り入れる中で、計画どおりに実施した。 また、年金委員表彰については、3年ぶりに対面型での表彰式を開催した。 【課題】 ○年間を通じた職域型・地域型年金委員の委嘱拡大の取組みの強化と、地域型年金委員の活動内容の充実を図る必要がある。
②積極的な情報提供及びアンケートの実施	②【職域型】 各種啓発資料（※）送付 ※「ねんきんNEWS」 【地域型】 各種啓発資料（※）送付 ※「年金委員［地域型］活動の手引き」 ※「ねんきんNEWS」	
③委嘱数拡大に向けた取組	③【職域型】 新規適用事業所への勧奨 （総合調査時等） 【地域型】 退職した職域型委員への勧奨 市町村への協力依頼	
④年金委員表彰の実施	④令和4年11月17日（木） 和歌山ビッグ愛「大ホール」にて年金委員・健康保険委員表彰実施（全国健康保険協会と共催） ・厚生労働大臣表彰　1名 ・日本年金機構理事長表彰　2名 ・日本年金機構理事表彰　2名	

○地域年金事業運営調整会議

R4年度

計画	実績	総括及び課題
○令和4年度和歌山県 地域年金事業運営調整会議の実施 	○令和5年2月1日　資料送付による書面開催	【令和3年度におけるご意見への引き続きの課題】 ○「わたしと年金エッセイ」の募集の取組み強化。 ○年金セミナーについて、学生の年金に対する関心をさらに高め、知識を広げることが大切。

○ねんきん月間及び年金の日の取組

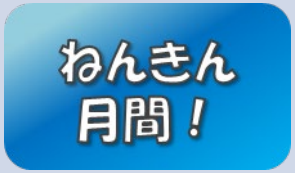
R4年度

「ねんきん月間」
日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、国民の皆さまに、年金制度に対する理解を深めていただくため、全国各地で公的年金制度の普及・啓発活動を展開します。

「年金の日」
国民一人一人に『ねんきんネット』等を利用して年金記録や年金受給見込み額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、平成26年度から毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定。

【和歌山県における「ねんきん月間」及び「年金の日」の取組事例】

取組	実績
①出張年金相談（市町村イベント会場・大規模商業施設）	①令和4年11月19日（土） ・「ふれあい人権フェスタ2022」会場にて年金相談及びチラシ配布 令和4年11月30日（水） ・「和歌山ミオ北館1F」において年金相談及びチラシ配布
②年金委員表彰及び年金委員研修	②令和4年11月17日（木） ・「和歌山ビッグ愛」にて年金委員・健康保険委員表彰実施（全国健康保険協会と共催）。研修会は実施なし
③教育機関での学生納付特例申請相談会	③令和4年11月25日（金） ・「和歌山大学　学生ホール」にて年金相談会等を開催



（参考）「わたしと年金」エッセイの募集

日本年金機構では、公的年金制度の意義や、国民の皆様の結びつきなどについて、皆様と一緒に考えていくことを目的として、応募者ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度との関わりについて、「わたしと年金」をテーマにしたエッセイを募集しています。

＜エッセイ応募件数（和歌山県）＞

	一般	学生	計
令和2年度	1件	0件	1件
令和3年度	1件	0件	1件
令和4年度	0件	0件	0件
令和5年度	0件	0件	0件

＜エッセイ募集にかかるご支援、ご協力一覧＞

団体名	ご支援・ご協力内容
和歌山県教育委員会	県内の公立高等学校への周知文書及びポスター、リーフレットの配布要請。
和歌山市教育委員会	市内の市立中学校への周知文書及びポスター、リーフレットの配布要請。

3．令和5年度事業実施経過
（令和5年12月末現在）

○地域連携事業 （1/2）

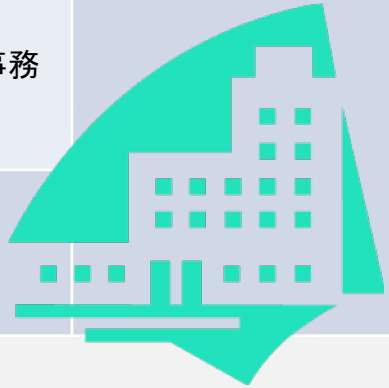
R5年度

	計画	実績	総括及び課題
市町村	①窓口へのポスター掲示等 ②広報誌への記事掲載 ③職員への年金制度説明会 ④その他	①市町村の窓口へ法律改正等のポスター掲示及びリーフレット等の配置 ②市町村広報誌に掲載する年金に関する記事の提供（奇数月） ③市町村担当者（5月、6月、8月、11月、12月） ・和歌山東3回、和歌山西4回、田辺4回 ④民生委員への年金制度説明会 ・田辺　3回実施（美浜町、みなべ町、上富田町の民生委員）	【総括】 【課題】
社会保険労務士会	①広報誌への記事掲載	①社会保険労務士会発行の広報誌へ年金に関する記事を掲載 ②社会保険労務士会主催の研修会への講師派遣	
社会保険協会	①広報誌への記事掲載	①社会保険協会発行の広報誌へ年金に関する記事を掲載 ②社会保険協会主催の研修会への講師派遣	

○地域連携事業 （2/2）

R5年度

	計画	実績	総括及び課題
全国健康保険協会	委員研修会の共同実施	○実施なし ※和歌山東社会保険委員会、和歌山西社会保険委員会並びに田辺社会保険委員会において、単独開催で実施 ※なお、和歌山東社会保険委員会においては、令和6年1月に全国健康保険協会和歌山支部との合同による開催	【総括】 【課題】
事業所等	従業員及び事務担当者への年金制度説明会	○企業等からの依頼による説明会 ・和歌山東　3回実施（2事業所、1団体） ○算定基礎届説明会 ・和歌山東　2回実施 ・和歌山西　2回実施 ・田　　辺　3回実施 ○令和6年10月に改正される短時間労働者の適用拡大予定事業所に対する戸別訪問による制度説明の実施。 ○新規適用事業所に対する事業所調査や戸別訪問による事務担当者への個別説明の実施	
商工会	研修会への講師派遣	○実施なし	



○年金セミナー事業 （1/2）

R5年度

計画		実績	総括及び課題
年金セミナー	①年金セミナー実施に向けた教育機関への積極的なアプローチ ②令和4年度実施校の継続実施	①及び②の実績については以下のとおり	【総括】 【課題】

	大学・短大	専門学校	高等学校	中学校	支援学校	計
アプローチ ※	0回	5回	17回	27回	0回	49回
セミナー	1校 1回	1校 1回	5校 5回	0校 0回	1校 1回	8校 8回
セミナー受講者数	135人	42人	164人	0人	42人	383人

※　電話もしくは訪問による回数

令和5年度年金セミナー実施校については以下のとおり

学校名	実施日	対象学年	対象者数
宝塚医療大学	8月9日	2年	135
県立さくら支援学校	12月6日	保護者	42
県立有田中央高校清水分校	12月13日	1年	2
近畿大学附属新宮高校	6月16日	3年	114
県立田辺産業技術専門学校	11月22日	1、2年	42
県立南部高等学校龍神分校	12月14日	3年	6
県立南紀高等学校	12月15日	3年	11
県立田辺高等学校	12月19日	3年	31

○年金セミナー事業 （2/2）

R5年度

	計画	実績	総括及び課題
年金セミナー	地域年金推進員の委嘱	○令和5年度の地域年金推進員を委嘱 ・和歌山東2名、田辺1名の計3名を委嘱。 ・中学校での年金セミナーを担当。	【総括】 【課題】
リーフレット等の設置	大学等に対し、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置依頼	○和歌山大学に対して、学生納付特例制度に関するポスターやリーフレット等の設置依頼を実施。 	【総括】 【課題】

○地域相談事業 （1/2）

R5年度

<table>
<tr><th></th><th>計画</th><th>実績</th><th>総括及び課題</th></tr>
<tr><td>市町村</td><td>遠隔地の市町に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設</td><td>○各市町における実施結果は以下のとおり
<table><tr><th>市町村</th><th>会場</th><th>回数</th><th>相談者数</th></tr><tr><td>橋本市</td><td>橋本市教育文化会館他</td><td>18回</td><td>70人</td></tr></table>※和歌山県社会保険労務士会主催の年金相談会を有田市、湯浅町、御坊市で実施

○和歌山県難病子ども保健相談支援センターの要請により難病患者対象の年金相談を実施
・和歌山東　1回実施（相談者1名）
・田　　辺　1回実施（相談者1名）

○イベントへの参加なし</td><td>【総括】

【課題】</td></tr>
<tr><td>ハローワーク</td><td>年金制度説明会の開催及び免除申請等の相談窓口の開設</td><td>○令和5年9月以降、ハローワーク海南及びハローワーク田辺にて、「雇用保険説明会」の際に失業等による国民年金保険料免除制度について説明
・和歌山西　18回実施（受講者171名）
・田　　辺　12回実施（受講者240名）</td><td>【総括】

【課題】</td></tr>
</table>

○地域相談事業 （2/2）

R5年度

	計画	実績	総括及び課題
商業施設	各地域の利便性の高い商業施設に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設	○令和5年11月30日（木） 和歌山ミオ北館1階にて実施 ・年金相談 ・健康相談 ・ミオ広場内、ミオ北館前（屋外）、JR和歌山駅中央口（屋外）でのねんきんネット利用促進チラシ等の配布	【総括】 【課題】
教育機関	学生納付特例申請等の相談窓口の開設 （和歌山大学） 	○令和5年11月28日（火） 和歌山大学にて実施 ・学生納付特例・ねんきんネット他チラシの配付（200部） ・年金相談等（3人）	【総括】 【課題】

○年金委員活動支援事業

計画	実績	総括及び課題
①研修及び意見交換の実施	①各年金事務所において、年金委員に対する研修会を実施した。 ・和歌山東　職域型　3回・64名　地域型　1回・6名 ・和歌山西　職域型　1回・14名　地域型　1回・4名 ・田　辺　職域型　3回・44名	【総括】 【課題】
②積極的な情報提供及びアンケートの実施	②【職域型】 各種啓発資料（※）送付（4、7、10月） ※「ねんきんNEWS」 【地域型】 各種啓発資料（※）送付（4、7、10月） ※「ねんきんNEWS」	
③委嘱数拡大に向けた取組	③【職域型】 新規適用事業所等への勧奨　（総合調査時） 年金委員未設置事業所への電話・文書勧奨 【地域型】 退職した職域型委員への勧奨 市町村、民生委員、教育機関への協力要請	
④年金委員表彰の実施	④令和5年11月10日（金） 「和歌山ビッグ愛　大ホール」にて年金委員・健康保険委員表彰実施（全国健康保険協会と共催） ・厚生労働大臣表彰　1名 ・日本年金機構理事長表彰　2名	

○ねんきん月間及び年金の日の取組

R5年度

「ねんきん月間」
日本年金機構では、厚生労働省と協力して毎年11月を「ねんきん月間」と位置付け、国民の皆さまに、年金制度に対する理解を深めていただくため、全国各地で公的年金制度の普及・啓発活動を展開します。

「年金の日」
国民一人一人に『ねんきんネット』等を利用して年金記録や年金受給見込み額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、平成26年度から毎年11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定。

【和歌山県における「ねんきん月間」及び「年金の日」の取組事例】

取組	実績
①出張年金相談（市町村イベント会場・大規模商業施設）	①令和5年11月30日（木） ・「和歌山ミオ北館1F」において年金相談及びチラシ配布
②年金委員表彰及び年金委員研修	②令和5年11月10日（金） ・「和歌山ビッグ愛」にて年金委員・健康保険委員表彰実施 （全国健康保険協会和歌山支部と共催）
③教育機関での学生納付特例申請相談会	③令和5年11月28日（火） ・「和歌山大学学生ホール」にて年金相談会を実施 ・学生納付特例制度周知、ねんきんネット加入促進チラシ等の配布
④その他	④ハローワーク海南、ハローワーク田辺の「雇用保険説明会」において、国民年金保険料失業による特例免除制度周知等を実施 ・和歌山西　6回実施（受講者49名） ・田　　辺　4回実施（受講者80名）

4. 令和6年度事業計画（案）

○市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組（1/2）

正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の最新情報を地域において周知することは、地域年金展開事業の重要な取組であるため、市町村、自治会、事業所、関係機関（ハローワーク、教育委員会等）、関係団体（年金受給者協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会等）に対し、あるいは、これらの機関と連携して、地域に根付いた情報提供活動や年金制度説明会等を実施する。主な内容は、以下のとおり。

1．チラシ・ポスター等の配布

年金制度に関するチラシ・リーフレットの配布・設置、及びポスター掲示等を市区町村、ハローワークや関係団体（年金受給者協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会等）に積極的に依頼する。

依頼については、事前に連絡するなど丁寧な対応を実施すること。

また、地域型、職域型それぞれの年金委員の協力を得て実施することも可能とする。

2．年金制度説明会

企業、地方自治体、教育施設等からの要請に対して、積極的に対応するとともに、県民の皆様に対し、制度を知らないことによる不利益を生じさせないための情報提供を目的とした説明会を実施する。

また、要請の期待にそえるため、職員の講師養成研修等、人材育成を強化する。

3．出張年金相談会

年金事務所が主体となり、市町村、自治会、大学、商業施設、その他イベント会場等で行う相談会（学生納付特例申請窓口、免除申請窓口を含む）を実施する。

○市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組（2/2）

4. 地域年金事業運営調整会議

地域年金展開事業は、地域・教育・企業の中で公的年金制度に対する理解をより深め、世代・年齢、地域・職域を越えた社会連帯を図ることを目的としている。そのため、各都道府県に有識者や関係機関・団体の民間委員から構成される「地域年金事業運営調整会議」を設置し、地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上策等について意見交換を行い、事業推進につなげる。

5. ねんきん月間・年金の日の取組

毎年11月の「ねんきん月間」は、厚生労働省と協力して、公的年金制度の普及・啓発活動及び国民年金保険料収納対策を積極的に行うこととしている。また、11月30日（いいみらい）は、厚生労働省において「年金の日」と定められていることから、「ねんきん月間」と併せてねんきんネット等の普及を促進する。なお、年金委員にも協力を依頼し、活動への参画を求める。

6. 「わたしと年金」エッセイ

年金制度の意義や公的年金制度と国民の結びつきなどについて考えていただくため、自身や、家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについて、エッセイを募集する。

募集にあたっては、地域年金推進員の活用や関係機関・関係団体の協力を得ながら実施する。

○教育機関を対象とした取組

学生・生徒等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組であるため、各種教育機関の協力をいただきながら年金セミナーを実施する。

１．アプローチ

（1）県代表年金事務所は県教育委員会、県学校長会等に対する周知、協力要請を行う。

（2）年金事務所は高等学校長会や学校に対して個別にアプローチする。
なお、アプローチは、地域年金推進員への協力要請も可能とする。

（3）大学へ年金セミナー開催の周知、協力依頼を行う。またその際は、大学のホームページに年金制度啓発資料の掲載についても依頼する。

２．年金セミナー

年金セミナーの実施方法は、以下のとおり。

（1）機構職員や地域年金推進員が教育機関を訪問し、教室・講堂・体育館等において、学生・生徒・教職員・学生の保護者と直接対面してセミナーを実施する。

（2）機構職員等が教育機関を訪問し、当該機関のWeb会議ツール等を使用して、学生等と非対面でセミナーを実施する。

（3）専用端末に登録されているWeb会議ツールを使用して、学生等と非対面でセミナーを実施する。

（4）機構本部で作成した解説付きセミナー用動画（オンライン動画）を視聴する。

○年金委員を対象とした取組

日本年金機構法第30条に規定する年金委員については、年金制度について広く国民の皆様に周知するとともに年金制度への理解と信頼を深めていただくための普及・啓発活動を行う重要な役割を担っており、この年金委員活動の一層の活性化を図る必要がある。引き続き、委嘱拡大をはじめ、情報提供や研修・連絡会の充実など年金委員の活動を支援する取組を推進する。

1．委嘱拡大に向けた取組

職域型にあっては、事業所が他業務で年金事務所に来所する機会を捉えて勧奨・案内を実施するとともに、年金委員未設置事業所に対しては、電話・文書により積極的な勧奨を行う。なお、勧奨の際は、「委嘱勧奨用チラシ」や「年金委員推薦書」を同時配付する。

地域型については、市町村職員、教育機関、自治会長や民生委員、また関係団体への積極的な勧奨を行う。

2．年金委員の活動支援

年金委員活動の活性化とその委嘱拡大を最重要課題と位置づけ、地域型年金委員連絡会や年金委員研修等による情報発信の充実を図り、年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行い、機構本部と連携し年金委員に対する必要な支援を行うとともに、関係団体（年受給者協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会）等への働きかけを強化し、その委嘱拡大に努める。

3．年金委員表彰

多年にわたる活動に謝意を表すとともに、公的年金事業の推進及び年金委員活動の更なる活性化を目的とし、年金委員としての功績が特に顕著と認められる者を表彰する。

○職員の育成

地域年金展開事業を円滑に推進するため、セミナー講師としてのスキル向上など職員の育成にも積極的に取り組むこととする。

1. 機構のWeb会議ツール実機研修
   日本年金機構のインターネット専用端末に登録されたWeb会議ツールの操作方法についての基本操作を中心に研修する。

2. 講師養成研修
   セミナー又は研修講師としての必要なスキル、Web会議ツールを使用し非対面でセミナー等を実施する場合の留意点等を外部講師により研修する。

3. 新入構員研修
   テレビ会議システムを使用し、地域年金展開事業の目的や概要について研修する。

○スケジュール（令和6年4月～令和7月3月）

年　月	市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組	教育機関を対象とした取組	年金委員を対象とした取組
令和6年4月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険労務士会、社会保険協会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】		●「ねんきんNEWS」を活用した年金委員への情報提供 【和歌山東、和歌山西、田辺】
5月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村広報誌への記事掲載 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●「わたしと年金」エッセイ募集に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	
6月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険協会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●「わたしと年金」エッセイ募集に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	●職域型年金委員への研修会 【和歌山東】

年　月	市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組	教育機関を対象とした取組	年金委員を対象とした取組
7月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村広報誌への記事掲載【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険労務士会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】		●「ねんきんNEWS」を活用した年金委員への情報提供【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●職域型年金委員研修会【和歌山西、田辺】 ●地域型年金委員連絡協議会、研修会【和歌山東、和歌山西、田辺】
8月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険協会発行の広報誌への記事掲載【和歌山東】 ●企業等の年金制度説明会 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナー実施に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	
9月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナー実施に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	

年　月	市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組	教育機関を対象とした取組	年金委員を対象とした取組
10月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険労務士会、社会保険協会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●年金セミナー実施に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	●「ねんきんNEWS」を活用した年金委員への情報提供 【和歌山東、和歌山西、田辺】
11月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村広報誌への記事掲載 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●企業等の年金制度説明会 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】 ●ねんきん月間の取組 商業施設やイベント会場での出張年金相談 【和歌山東、和歌山西、田辺】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●年金セミナー実施に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●ねんきん月間の取組 大学構内での年金相談・受付窓口の開設【和歌山東、和歌山西、田辺】	●地域型年金委員連絡会及び研修会 【和歌山東、和歌山西】 ●年金委員表彰の実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】
12月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険協会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●年金セミナー実施に向けた教育機関へのアプローチ 【和歌山東、和歌山西、田辺】	

年　月	市町村、自治会、事業所、関係機関・団体を対象とした取組	教育機関を対象とした取組	年金委員を対象とした取組
令和7年1月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村広報誌への記事掲載 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険労務士会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】	●「ねんきんNEWS」を活用した年金委員への情報提供 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●職域型年金委員研修会 【和歌山東】 ●地域型年金委員連絡会及び研修会 【田辺】
2月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●社会保険協会発行の広報誌への記事掲載 【和歌山東】 ●企業等の年金制度説明会 【和歌山東】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】	
3月	●関係機関（市町村、社会保険労務士事務所等）の窓口へのポスター掲示、リーフレットの配置 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村広報誌への記事掲載 【和歌山東、和歌山西、田辺】 ●市町村における出張年金相談 【和歌山東】	●年金セミナーの実施 【和歌山東、和歌山西、田辺】	